

その模型は正確で、しかも安全？

～感染対策における歯科チームの連携～

私達、歯科技工士が日々製作する“歯科補綴物”の原点となる模型は、口腔内の状況を正確に転写されていなければなりません、病原微生物も転写されていますと大きな問題です。

アルギン酸印象材の正確性と安全性については技工室における実証実験値をすでに報告していますが、臨床の現場では歯科医師の指導の下、歯科衛生士をはじめとするスタッフの皆様と、各領域[ZONE]と[標準感染予防策]Standard Precaution に関し共通認識を持たなければなりません。

また、歯科技工士への感染予防に関する教育はきわめて少なく、その理論と実践の詳細は“厚生労働省委託感染予防歯科技工士講習会”に委ねるとして、今回は、医歯薬出版社から出版された歯科技工[別冊] 誤差を埋めるクラウンブリッジの臨床・技工 に、コラムとして投稿した【感染対策における歯科医療チーム連携の要点】を中心にお話しさせて頂き、皆様方の臨床の参考にして頂ければと思います。

履歴

今牧 謙 (公社) 日本歯科技工士会 認定講師
(一社) 神奈川県歯科技工士会 所属
1954年 静岡県出身
1975年 沼津歯科技工士学校卒業
1976年 (株)クワタパネント実習科入所
1983年 (株)コアデンタルラボ横浜 設立
現在 常務取締役
(一社) 日本歯科技工学会 理事

(株)コアデンタルラボ横浜

〒233-0007 神奈川県横浜市港南区大久保 1-5-26

Tel 045-840-0811 Fax 045-840-0813

Address : imamaki@core-dental.co.jp

